

議会だより

今回の題字は、^{くまたか しんばち}熊高 新八 くん（川根小学校6年生）です。



向原中学校当時2年生生徒が「生徒議会」一般質問で熱くまちづくりを提案している様子（明るい選挙推進協議会主催：29年2月1日開催）

6月定例会 …………… 2～3

地域懇談会報告 …… 13～19

常任委員会報告 …… 4～7

28年度政務活動費 …… 20

一問一答

あんな こんな

9人が市政を問う …… 8～12

地域のかがやき …… 22

可決

向けて始まる 改修甲立小学校

6月定例会

6月定例会を6月9日から6月27日までの会期で開催しました。

一般会計、水道事業会計2会計の補正予算は、予算決算常任委員会へ付託しました。(補正予算審査は4ページに掲載)

常任委員会では、付託された議案審査や所管事務調査を実施しました。(各常任委員会の審査は5～7ページに掲載)

本定例会において付議された12議案について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、9人が市政を問いました。(8～12ページに掲載)



同意(1件)

教育委員会委員の任命

亀井 聖さとしさん

高宮町来女木

同意

議案第48号

○高宮老人福祉センター1条例等の一部を改正する条例

■概要

法務局において、高宮町船木・原田・羽佐竹及び房後地区の山地番・耕地番の重複地番の解消作業が行われ、山地番に係る地番が変更になったことに伴い、7施設の所在地番を変更するもの。

■採決

全員賛成

議案第50号

○過疎地域自立促進特別措置法に基づく安芸高田市固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

■質疑

金行 具体的な内容は、**広瀬市民部長** 固定資産税の課税免除となる対象業種の一部を「情報通信技術利用事業」いわゆるコールセンターを削除し、「農林水産物等販売業」いわゆる産直市を追加。これにより30年度以降3年間の固定資産税を免除する。ちなみに29年度は製造業11件3200万円を免除したが、免税額の75%が地方交付税として措置される。

■採決

全員賛成

改修工事

統合校舎 既存校舎 根野小学校



根野小学校校舎



甲立小学校校舎

議案第54号

○工事請負契約の締結について
(根野小学校既存校舎改修工事)

■質疑

前重 工期はどちらの小学校も来年1月31日までだが、生徒への支障はないのか。
土井教育次長 できる限り長期休暇中にトイレ・エアコンなどの内装は終わらせる予定。

外部改修は9月以降の計画。

■採決

全員賛成

議案第55号

○工事請負契約の締結について
(甲立小学校既存校舎改修工事)

全員賛成

発議(2件)

■地方財政の充実・強化を求める意見書について

平成30年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方財政予算全体の安定確保に向け、国に対して「地方財政の充実・強化」を求めるもの。

全員賛成

■教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書について

子どもたちのゆたかな学びを実現し、また教職員の長時間労働是正に向けた計画的な教職員定数改善の推進及び教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元することを求めるもの。

全員賛成

予算決算常任委員会

6月9日の本会議において審査を付託された29年度一般会計・特別会計補正予算について6月13日に委員会を開き、慎重に審査しました。

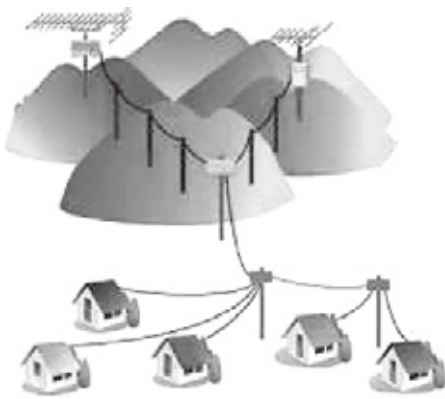
(主な審査)

- 平成29年度安芸高田市一般会計補正予算(第2号)
- 平成29年度安芸高田市水道事業会計補正予算(第1号)

- 委員長 青原敏治
副委員長 玉井直子
委員 議長を除く全議員

一般会計補正 5755万9千円減額 (総額 210億3244万1千円)

主な補正予算



300万円増額

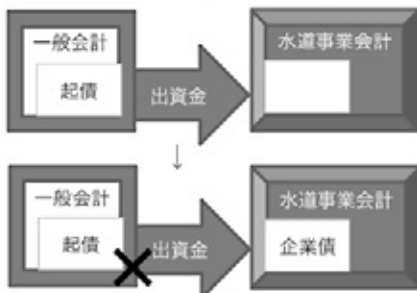
○地上デジタル放送難視聴対策補助
金(新規)



820万円増額

○高宮基幹集落センターなどの解体・撤去に伴う工事費

当初は一般会計において起債の借入を行い、水道事業に出資する予定。
↓
水道事業会計が企業債の借入を行い補正。そのため予定していた一般会計からの出資金を減額。



9420万円減額

○水道事業会計の財源に企業債を充当



1330万円増額

○全小中学校の普通教室等にエアコンを設置する工事費

総務企画常任委員会

6月21日に委員会を開き、議案2件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○安芸高田市基幹集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例

(報告事項)

○安芸高田少年自然の家利活用検討委員会の設置について

委員長 穴戸 邦夫
副委員長 山根 温子
委員 芦田 宏治
石飛 慶久
塚本 近
先川 和幸

農地中間管理事業推進員を設置

■概要

農地中間管理事業の円滑な推進を図るため、農地中間管理事業推進員を設置し、報酬額は他の特別職の条件等を参考として、月額17万8千円に定めるもの。

■質疑

山根 農地中間管理事業推進員設置要綱は、今年の3月31日に公示、4月1日から施行されている。法的根拠のない要綱に報酬額が示されていることや、今になって条例改正が出されたことについての考えは。

■杉安総務部長

本来であれば3月定例会に条例・予算を提出し、議決をいただくべきであった。4月に入り設置の必要性が生じたため、支出の根拠を示すことからまずは要綱を制定したが、地方自治法で非常勤特別職を設置する場合は条例で定めることとなっているので、本定例会に議案を提出した。

甲立基幹集落センターの廃止・解体

■概要

30年4月に開校予定の甲田小学校への用地の一部提供に伴い、老朽化著しい「甲立基幹集落センター」を本年8月で廃止・解体するため名称を削除するもの。

広島県内の同一大字内の耕地と山間地の重複地番解消のため、房後ふれあいセンターの所在地番257番地に1万を加算し10257番地に変更するもの。



甲立基幹集落センター

■概要

安芸高田少年自然の家利活用検討委員会の設置について

安芸高田少年自然の家については、29年3月末日をもって廃止したが、地域住民などから廃止後の施設の利活用について要望もあることから、関係する市民・団体・外部の学識経験者による検討委員会を設置して、幅広い意見を求めることになった。

文教厚生常任委員会

6月22日に委員会を開き、議案1件、陳情1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市高宮高齢者生産活動センター設置及び管理条例を廃止する条例

(審査した陳情)

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書提出に関する陳情

委員長 秋田雅朝
副委員長 前重昌敬
委員 玉井直子
児玉史則
青原敏治
水戸眞悟

高宮高齢者生産活動センター廃止へ



廃止される高宮高齢者生産活動センター

概要

山村振興法に基づき、昭和52年に建設された高宮高齢者生産活動センターは、築40年を経過し施設の老朽化が進んでいる。また、現在施設を利用している2団体の移転先が定まったことから、この施設を廃止するもの。

質疑

前重 条例廃止後、当該施設は解体となるのか。

中野健康長寿課長 当該施設は、29年度に解体を計画している。

敷地については借地のため、解体後、借地の返還となる。

水戸 神楽面製作グループはレイン

ボーファームへ移転することだが、地域振興事業団を主体として始まったジビエ加工施設との関連は。

中野健康長寿課長 現在レインボー

ファームは、1階をジビエの加工所として使用している。2階に神楽面の体験教室を行っていた部屋があるため、神楽面製作グループはこちらへ移転することになる。

水戸 当該施設と基幹集落センターとは防火壁で区切つてある程度で、一体の施設であるが、解体となれば、基幹集落センターの設置管理条例等はどうなるのか。

中野健康長寿課長 基幹集落センターは合併時に保健センターとして改築し、保健センターの設置管理条例に基づき管理していたが、27年3月末に吉田町へ保健センターが集約されたことに伴い、設置管理条例が廃止されている。

陳情

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書」提出に関する陳情

〔陳情者〕 広島県教職員組合山県・安芸高田支区

〔要旨〕 1 計画的な教職員定数改善を推進すること。
2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

〔審査の経過〕 上記の陳情は委員会で採択し、発議することとした。

産業建設常任委員会

6月23日に委員会を開き、陳情1件を慎重に審査しました。また、1件の所管事務調査を行いました。

(審査した陳情)

○甲田町高田原地域の生活道路安全確保に関する陳情

(所管事務調査)

○田んぼアート整備事業について

(報告事項)

○農地取得に係る下限面積の変更に ついて

ほか1件

委員長 大下 正幸
副委員長 玉重 輝吉
委員 新田 和明
山本 優
熊高 昌三
金行 哲昭

新たな観光 スポット!

平成32年度本格開催に向け調査 「田んぼアート事業」



田んぼアート (青森県田舎館村)

概要

安芸高田の田園風景を生かし広大な田んぼをキャンパスと見立て古代米や観賞用米等、色彩異なる稲を作付けすることで巨大な絵を描き、既存施設の周遊促進を図ることによって観光客数・観光消費額の拡大に向け取り組む計画。

質疑

玉重 周遊コースを確立すれば観光客が増え、かなりの経済効果があるのではないか。課題が多いのはわかるが、もっと自信をもって進めては。

青山産業振興部特命担当部長

周遊促進により滞在時間を長くして観光消費額を上げる手法としては有効である。運営・技術・費用や苗の関係で、適すかどうかを精査する必要がある。

農地取得に係る下限面積 10アールに変更

概要

旧町によって違いのあった農地取得に係る下限面積を10アールに変更。

農業従事者の高齢化及び減少、また遊休農地の増加等の社会情勢に対応するため、下限面積について農業委員会が協議を重ねて変更が決定となった。新規就農を促進し耕作放棄地の発生・防止が見込まれる。

陳情

「甲田町高田原地域の生活道路安全確保に関する陳情」

〔陳情者〕 甲田町高田原地域生活道路整備推進発起人
西本通・中央通・駅前・東本通・平佐 各常会代表

〔要旨〕 甲田町高田原地域の生活道路である「県道37号線広島・三次線及び県道52号線世羅・甲田線の歩道・自転車道の設置」。

〔審査の結果〕 上記の陳情は、委員会で現地調査を含めて継続審査することとした。

一問一答

9人が 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。



インターネット議会中継

みてください！一般質問・本会議を

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継
<http://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

インターネット回線の状況や運営会社のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。

市長 国の基準では、1人の保育士で0歳児は3人しか対応できず、急増すると到底不可能。施設は保育所規模適正化推進計画により、順次整備を進めていく。



玉重 輝吉 (無所属)

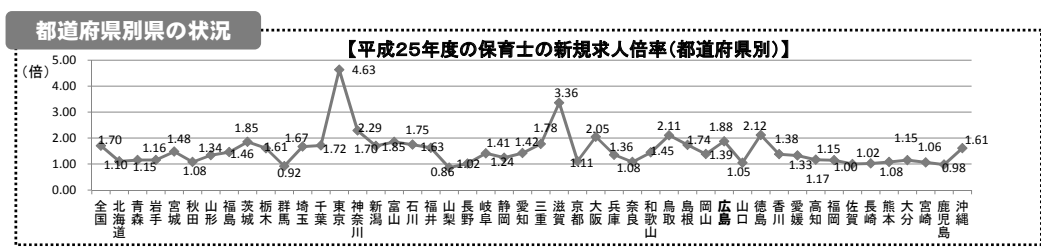
玉重 現在約18%の0歳児が保育所に預けられているが、急遽10%〜20%預ける人が増加した場合、保育士、保育所は対応できるのか。

市長 財政面での課題はあるが、子育て世帯を応援する24時間保育の一環として、検討していきたいと考えている。

保育士問題

保育士不足及び施設対策について

市長／保育士確保はできる限り施策の展開をし、施設は適正化推進計画により整備する



【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」
※新規求人倍率=新規求人数/新規求職申込件数

全国の保育士不足の状況

一般質問

山根 通院する車と児童・生徒の通学路が交差する吉田病院前の交差点の安全確保に向けての対応は。

市長 三次河川国道事務所が歩道のカラー舗装、吉田病院が注意看板設置で対応。



山根 温子
(無所属)

交通安全

交差点の安全確保に向けて

市長／関係機関がカラー舗装、注意看板の設置対応

山根 JRの駅は市

トイレ整備とまちづくり

山根 お太助バス通学高校生の試験時等の早い下校に対応は。

市長 県の課題。

公共交通と高校生の通学の利便性



駅はまちの玄関！
清潔で気持ちよく利用できるトイレを駅に！

山根 現在の課題として対応を。

市長 将来的な課題。の玄関。通勤・通学で毎日延べ700人近くの人が利用する向原駅のトイレは、障害者用のみ洋式で、ドアはアコーディオン式。駅トイレの整備は。

観光資源

DVDで市の魅力発信は

市長／観光施設を紹介するDVDを作り活用している



宍戸 邦夫
(無所属)

宍戸 市の観光資源を紹介するDVDの作成は。

市長 すでに作成し活用しているが、今後、学校、福祉施設、ふれあいサロン等で紹介するDVDの作成を検討する。

障害者差別解消法

宍戸 昨年4月「法」が施行されたが、市としてのこれまでの取り組み状況は。

市長 市の職員が法の基本方針を理解し適切に対応するため



大土山田楽（大花田植）
安芸高田市無形民俗文化財（甲田町下小原）

「職員対応要領」を策定し、全職員を対象に研修を実施している。

また、社会福祉課に相談窓口を設置し、手話通訳者を定期的配置、聴覚などの障害のある方への支援など行っている。

財政の硬直化と未来への投資

未来への投資の 有利性は

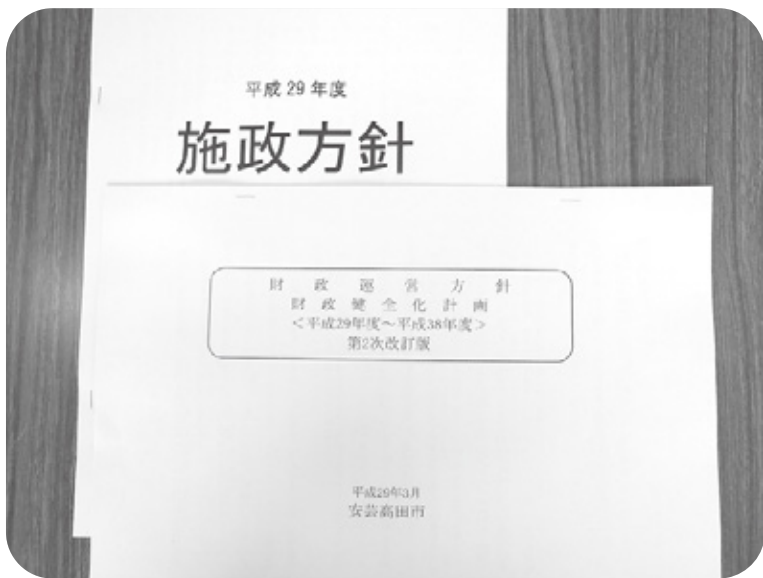
市長／活性化、健全財政運営、
住民サービスの向上に



石飛 慶久
(無所属)

石飛 義務的経費と
投資的経費のバラ
スについて公共施設

石飛 施政方針の未
来への投資が、市民
へどのように影響を
及ぼすのか、税負担・
利用負担を考慮し、
その有利性は。
市長 財源不足によ
る行政サービス低下
を回避するため、施
策や事業の選択と集
中、低所得者には国
と一緒に保障し、市
民へ受益者負担を相
応にし、バランスの
とれた投資をするこ
と。



最新の施政方針と財政運営方針

の配置適正化・財政
運営・基金利用など
は。
市長 公共施設の配
置適正化により経常
経費の削減、有利な
合併特例債の活用、
基金の有効活用など、
一般財源の確保等に
一層努力する。

テレワークの 取り組み

市長／実証実験を経て
市民参画にしたい

働き方改革



新田 和明
(無所属)

新田 いつでも、ど
こでも、何時でも仕
事ができる仕組みの
働き方改革テレワー
クの取り組みについ
ては。
市長 「テレワーク実
証実験」で3名のモ
ニター状況。分析を



いつでも、どこでも、何時でも、テレワークのイメージ

行い、幅広い仕事を
持つて市民参画にし
たいと考えている。

新田 今後の本市独
自のテレワークの広
報活動は。

市長 企業ニーズの
情報提供等を市民向
けの広報とする考え
である。

小・中学校給食の 無償化にUSJ

新田 小・中学校給
食の無償化について
どう考えているか。

市長 国の動向や近
隣市町の状態で今後
慎重に判断したい。
費用対効果を検証し、
総合的観点から検討。

金行 我が市も人口ビジョンに安心して暮らせる、地域資源を活かした、と基本

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

金行 吉田口バイパス周辺はこれまで大雨の時、浸水し通行止めとなるが、その対策は。
市長 戸島川の改修も絡んでおり、県知事に要望していく。



金行 哲昭

(無所属)

的な考えがあるが、2015年から現在の進捗状況は。
市長 子育てを無料

大雨の時

**吉田口バイパス浸水
通行止め対策
市長／県に要望する**



浸水した吉田口バイパス周辺

にしよとか、働く場をつくらうとか、教育のレベルを上げようかと、具体的に絞った事業を展開しているのが人口減対策である。28年は転出超過で、これを抑えて転入者を増やすよう効果的に実施していきたい。

塚本 担い手不足と高齢化により、農地が荒廃し農業施設のため池、用排水路農道など管理ができず、有害鳥獣の住みかとなり、集落維持が困難となる。対策は。



塚本 近

(無所属)

農業

農地を守り、集落維持を

市長／国が進める「3本の矢」で

市長 集落内の話し合いによる「人・農地プラン」の策定や中山間地直接支払交付金、多面的機能支払交付金など3本の矢を活用。集落の維持と活性化を図り、農業を魅力ある成長産業とするとともに、担い手育成と地域に若者の移住・定住の実現を図っていく。



荒廃する農地

財政健全化について

塚本 財政健全化は計画どおり進むのか。
市長 32年度まで厳しい財政状況が続くが、33年度以降は収支が安定する推計であり、健全化に努める。

今年度の重点的な取り組みは

人口減少対策

市長／教育や子育て支援の充実・雇用の創出で成果を出す



芦田 宏治
(無所属)

芦田 人口減少対策で、今年度重点を置いて取り組む施策は。市長 学力のレベルアップと子育て支援の充実、そして雇用の創出で成果を出していきたい。

芦田 若者・子育て世代・中高年者向けのU・イターと呼ばれるパンフレットを作成してPRを。市長 Uターンを考えている人にわかりやすいパンフレットの作成を検討する。

芦田 市政に対する満足度を把握するために市民アンケートを実施する考えは。市長 市民総ぐるみで人口減少対策に取り組むうえで、広く意見を聞くことは重要。(その他の質問) ○公共施設の管理・運営方針について ○毛利一族ゆかりの3市町の観光振興について



すごろくで安芸高田市への移住をよびかけ

簸川かんがい配水

簸川かんがい配水事業について

市長／他の施設と同様、受益者負担をお願い



山本 優
(無所属)

山本 隧道建設の補償事業として建設されたものである。受益者の公平性ということで費用負担を求めていく説明であるが、維持管理は行政との合意事項であった。この事情をふまえての市長の考えは。市長 中国電力は、10年間の維持管理費も含まれており補償は済んでいるとの考え。管理費は行政が支払っているが、6町公平に受益者負

担ということ为原则として進めたい。

この課題は非常に難しいので、弁護士などの見解を得て解決しなければならぬと思っています。

(その他の質問) ○土師ダム人工スキ―場跡地利用について



かんがい配水施設 バルブを開けば水の心配なし

第1回臨時会

4月27日に第1回臨時会を開催し、承認2件、議案2件を審議しました。

承認 (2件)

○専決処分した事件の承認について【安芸高田市条例の一部を改正する条例】

○専決処分した事件の承認について【安芸高田市国民健康保険条例の一部を改正する条例】

地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、関係条例の一部を改正するもの。

承認

議案 (2件)

○財産の処分について

八千代町上根字藪崎地内の市有地(雑種地) 7284㎡を社会福祉法人清風会へ4370万円で売却するもの。

質疑

熊高 通勤者を移住させてくる住宅団地が効果があるのではないかという視点も含めて、政策的に比較検討されてこの形になったのか。

竹本副市長

これまで議論いただいたように、企業誘致の土地として活用という基本的な考え方で協議を進めてきて対応した。

採決

全員賛成

○29年度一般会計補正予算

財産の処分に伴う土地の売り払い収入を補正するもの。

全員賛成



売却地：八千代町上根字藪崎28番地4

地域懇談会

「安芸高田市議会による地域懇談会」 経過報告

参加対象団体の皆様のたくさんのご意見を頂戴しています。

3常任委員会が各町を巡回しています。これまで開催した4会場で出された「テーマに沿ったご意見」と「地域の課題に対するご意見」の抜粋を次ページから掲載しています。

- ◎総務企画 (吉田・八千代・美土里・高宮) …P14、15
- ◎文教厚生 (美土里・高宮・甲田・向原) …P16、17
- ◎産業建設 (甲田・向原・吉田・八千代) …P18、19

貴重なご意見を頂戴しましたこと、誠にありがとうございました。
残りの各2会場については、次号(第55号)へ掲載を予定しています。

～テーマ～

- ①人口減少対策とまちづくり
- ②公共施設のこれから

掲載中のご意見は、テーマ番号①②に対してのご意見です。



美土里会場

5月30日(火)19:00～ 来場者4名

- ①・市外からわかる市の魅力を、一本通ったものにしてPRすることにより、人を引っ張り込めるのでは。
- ・市内高校生の就職活動支援に市内企業とのお見合いを。
- ②・公共施設の削減対象は。
- ・集会所の必要性、また集会所などの修繕・整備の要望。
- ・ふれあいサロン会場の老朽化、修繕を。

5月31日(水)19:00～ 来場者25名

- ①・都市部の高齢者・年金生活者を故郷へ呼び戻す。
- ・若い人が帰ってきて、子どもを産めるまちづくりを。
- ・郷土愛の教育、在宅で仕事可能に。
- ・コミュニティ活動をしっかりできる予算、地域活性化できる助成を。
- ②・集会所などの修繕・整備要望。
- ・施設の廃止などではきた経緯を知り、十分な協議を。
- ・小学校統合による跡地利用は。



高宮会場

地域の課題

美土里地域

主な質問やご意見

- ◆市のイベントの参加条件が市内在住者・勤務者になっている。条件を取り払って誰でも参加しやすく。
- ◆働き方改革をして地域の行事に参加しやすくする。
- ◆まちづくりは目先のことだけにとらわれず、長期的なビジョンが必要。
- ◆施設の廃止はつくったときの経緯を知り、みんなで協議して決めてほしい。

高宮地域

主な質問やご意見

- ◆免許返納しても生活できる支援策を。
- ◆子育て・教育などへの市の施策は。
- ◆限界集落は取り残されるのか。
- ◆美土里分駐所の夜間稼働要望。
- ◆高宮バス停の駐車場拡張を。
- ◆災害時対応可能施設には規模・人数を絡めて検討を。
- ◆イベントに参加したくても、土日はお太助ワゴンが動かず参加できない。

総務企画常任委員会

(委員長：宍戸、副委員長：山根、委員：芦田、石飛、塚本、先川)



吉田会場

4月18日(火)19:00～ 来場者17名

- ① ・市外からの高齢世代を引きこむ。
・市内高校生の就職活動先に地元企業紹介を。
・今は田舎でも、都市でもないまちづくり 住む人の満足度を高く。
・市外からの通勤者が市内定住を考えるような魅力を探っては。
・他自治体と比較して税金が安ければ移住。
- ② ・少年自然の家は子どもの遊び場、規模縮小しても必要。
・集会所の必要性。
・30%削減して、観光客が泊まれる目玉になる施設はあるのか。違う発想での考えも必要。

4月19日(水)19:00～ 来場者10名

- ① ・固定資産税の減免措置などの検討を。
・地域特性を持ったまちづくりを。
・市の子育て支援施策のPRを。
・30～40歳代が住みやすい街に。
・定住には、安全・仕事・子育て・気候・買い物物の5つの環境が必要。
- ② ・要るものはいる、必要なものから考えていく。
・合併前の箱物を市として活かすか、民間活用を。



八千代会場

地域の課題

吉田地域

主な質問やご意見

- ◆オリンピックに向けた選手団の誘致は。
- ◆道の駅の説明は、市民に早く情報開示を。
- ◆道の駅は野菜だけでなく、ジビエなど特徴ある物を売ってほしい。
- ◆人が集まるところをつなぐ観光施設がほしい。
- ◆自主防災組織の完全なものがない。
- ◆見守り隊の組織を市民に拡大。冬場対策や交通傷害保険を。
- ◆太陽光発電の利益はいつからでいくらくらいか。

八千代地域

主な質問やご意見

- ◆高齢化している振興会に行政の仕事がたくさん下りてくる。
- ◆行事の人集めはたいへん。
- ◆消防団への協力事業所に対する配慮を。
- ◆振興会の若返りは無理のない、地域行事を楽しみながら地域に馴染んでいけるやり方で。
- ◆琵琶が池のパンフレットが昔のまま。
- ◆近くに買い物をする店がない。
- ◆道路の拡幅は。
- ◆上根にバスセンターを。深夜の交通の便を。

～テーマ～

- ① 中学校における学校規模適正化について
- ② 元気なまちづくりについて
(認知症の課題等元気な高齢者づくり)

掲載中のご意見は、テーマ番号①②に対してのご意見です。



向原会場

5月28日(日)13:30～ 来場者26名

- ① ・クラブ活動等考慮すれば統合もあるが、送迎の時間等考えると現状のままが。
 - ・既存2高校との中高連携の考えは。
 - ・クラブ活動合同での方法を考えてみてはどうか。
- ② ・地域でサロン活動等の利用者、役員が常に同一の方々と、普段出て来れない方への対応は。
 - ・早い段階から、地域ぐるみで対象の方々とサポートする体制の研修が必要ではないか。
 - ・地域の実態把握が必要では。地域の関わり方など。

5月30日(火)19:30～ 来場者27名

- ① ・生徒の力を育む原点に立って考えて頂きたい。
 - ・一極集中でなく、分散して担うのがよい。
 - ・クラブ活動が成り立たないと、統合も良いと思う。統合位置は考えて頂きたい。
 - ・生徒数も減少しているので、中途半端でなく一発でやった方が後々良いのでは。
- ② ・市、社協、老人会等も含め活動内容を一本化しての対応はできないか。
 - ・地域での情報(個人)共有はできないか。



甲田会場

地域の課題

向原地域

主な質問やご意見

◆一人暮らし世帯の見守りについて

- ・民生委員だけでは行き届かないので、地域の皆様が情報共有して見守りが必要。
- ・情報があれば動きやすく、対応しやすい。
- ・遠方の親族に対して、行政からの連絡を取るべきでは。
- ・地域の見守り情報ネットワークを構築すべきでは。
- ・外部スピーカー等での情報伝達を考えてほしい。お太助フォンから外部へは。

甲田地域

主な質問やご意見

◆一人暮らし世帯の見守りについて

- ・安芸高田市としての方向性が見えない。若い者を定着させるのか、高齢者対策か。議論する場があればよいのでは。
- ・生活支援員制度は、どういう形、方向は。

◆登下校時の安全対策、課題について

- ・智徳橋の歩道橋設置要望。

文教厚生常任委員会

(委員長：秋田、副委員長：前重、委員：玉井、児玉、青原、水戸)



美土里会場

4月15日(土)13:30～ 来場者 30名

- ① ・生徒数が少なく、部活動が成り立たないクラブもある中、他の中学校へ行く生徒がいる。
 - ・地域から学校がなくなるのは寂しい。
 - ・小中一貫校の対策も視野に入れてほしい。
- ② ・ヘルパーそのものが高齢化している。
 - ・健康づくり、見守り活動等、予算の制限を緩和して活動できる取り組みをお願いしたい。
 - ・隣近所で支え合う仕組みがほしい。
 - ・市民総ヘルパー構想を再検討いただきたい。

4月16日(日)13:30～ 来場者 51名

- ① ・市のメリット、デメリットは。
 - ・中学校へ通う生徒の事を考えてほしい。
 - ・マンモス校になってどうなのか。
 - ・小中一貫校の検討をされてはどうか。
- ② ・高齢者は問題を抱えている。支え合う社会の話はしているが決め手がないまま生活。お互いの知恵を出し合っては。
 - ・免許返納における、交通の便、買物券の提供等を市として対応願いたい。
 - ・GPS 端末貸与の値段は。



高宮会場

地域の課題

美土里地域

主な質問やご意見

◆通学路について

- ・歩行者・自転車通学路の街灯設置（二神集会所）。
- ・中学校入口の県道カーブが直線になればよいのだが。

◆お太助ワゴンについて

- ・免許証返納による買い物・病院等への体制整備対策へ。
- ・日時等指定しても「予約いっぱい」の返答。対応を。

高宮地域

主な質問やご意見

◆小学校規模適正化について

- ・プラス、マイナスも伴うが、マイナスも活かしたうえで統合も必要では。
- ・「複式学級」の説明がない。
- ・言える場所がない。早く協議会ができてほしい。
- ・教育委員会に、聞いてほしい。
- ・地域により違いがあるので、分かれて話を聞いてもらいたい。

～テーマ～

- ①若者定住について ②空き家対策（農業政策）について
 ③鳥獣対策について ④道の駅について

掲載中のご意見は、テーマ番号①～④に対してのご意見です。



吉田会場

5月17日(水)18:00～ 来場者15名

- ①・若者定住に対して迎える体制が整っていない。
 ・小児科の病院がない。(夜間対応)
 ・高校卒業後に働きたい職場がない。
 ・地域包括出来るようなモデル的な町、田舎だから出来る事の情報発信。
- ②・人口増だけ考えるのなら他市町から高齢者をよんできては。

5月26日(金)19:00～ 来場者7名

- ①・若者が一人でも増えて行くための住みやすい環境が必要。
 ・病院、スーパーがない。
 ・八千代産直市に広島市内からのお客が増えている。
- ③・シカ駆除は八千代が一番頑張っている。
- ④・道の駅は計画されていても反対。それによって八千代産直市がつぶれてしまうのでは。



八千代会場

地域の課題

吉田地域

主な質問やご意見

- ◆道の駅の運営に関して
 - ・特産品販売の仕組みづくりに重点を。
 - ・若い方の意見を取り入れて経営者、管理者を。
 - ・地元住民の雇用採用を。
 - ・ゴミ、騒音問題の対応が必要。
- ◆東広島高田道路開通に伴う利用者対応での宿泊施設、土師ダム施設の活性化。
- ◆ジビエ、鳥獣対策の“見える化”が必要。
- ◆企業誘致に力を入れてほしい。求職をしても選べる企業も少なく可部方面に仕事に行く人が多い状況に思える。

八千代地域

主な質問やご意見

- ◆54号線は朝7時～8時の時間帯に車が多いため狭い旧道を走行。それによって通学路が危険な状態。
- ◆農地購入がもっと簡単にできないか。
- ◆病院がほしい。
- ◆フォルテ前の車線を増やしてほしい。
- ◆南條装備付近、宮之城付近の信号機による渋滞の解消を早急にしてほしい。
- ◆若者定住において、賃貸で空き家を利用する場合、敷金を市が負担できないのか。

産業建設常任委員会

(委員長：大下、副委員長：玉重、委員：新田、山本、熊高、金行)



甲田会場

4月20日(木)19:00～ 来場者12名

- ① ・安芸高田の魅力が伝わってこない。
・広島市に就職して通勤可能な JR のダイヤ改正。
・働く所が少ない。
・都心から U ターンしてプロの芸能・文化に親しむ事ができなくなった。
- ② ・農地の借り、買いがわずかでも出来ないのか。
- ③ ・イノシシ、シカ、ヌートリア対策。
- ④ ・道の駅は大きな予算を要する。市民がワクワクするような仕掛けを期待する。

4月27日(木)19:00～ 来場者23名

- ① ・25年前移転し、2年前に U ターンしたが何も変わっていない。
・地域の特色をPR、女性が住みやすい町にしたらどうか。
・誇れるものは地域の人間性がよい。
・U ターンの方の気持ちを聞くこと。
・安心して住める町、暮らせる町、帰ってきたいと感じる町。
・JR 芸備線の活用、汽車のデコレーションを。
・出た意見の中で一つでも実行し、達成したら報告を。



向原会場

地域の課題

甲田地域

主な質問やご意見

- ◆JR 芸備線を使って地域の観光・通勤等のダイヤ及び運賃の見直しが必要ではないか。
- ◆都会からの U ターンで地域に魅力を感じない。格差があり過ぎて芸能・文化面でプロの芸術に触れられない。
- ◆農地の貸し借りがわずかでもできないか。
- ◆鳥獣対策をもっとやってほしい。
- ◆市が本気になって定住に取り組んでほしい。努力が伝わってこない。
- ◆道の駅は民営化すべき、負の遺産にならないように討議すべきである。

向原地域

主な質問やご意見

- ◆高校から出て行くのをくい止める。
- ◆小中高で向原の良い所、特色ある教育、大学との連携高校にしたらどうか。
- ◆自宅を新築する若者支援策として、500万円を市が負担できないか。
- ◆道路整備が進むよう地元の要望を聞いてほしい。
- ◆行政のポリシーをしっかりとって、「向原は都会のベッドタウン」の位置づけを。
- ◆農林業に元気になってほしい。

平成28年度 政務活動費収支報告

条例に基づき、議員の調査研究・活動に要するために必要な経費の一部が交付されます。安芸高田市では、議員個人に月額3万円交付されています。

【改選前】

平成28年4月～11月までの8ヵ月分

項 目		金額(円)
収入(交付金)		2,760,000
支 出	研修費	730,621
	広報費	0
	資料購入費	296,673
	資料作成費	2,270
	その他	0
	合計	1,029,564
残余额(返還額)		1,730,436

氏 名	申 請	支出額(円)
山本 優	○	11,010
玉重 輝吉	—	—
玉井 直子	○	113,986
久保 慶子	○	135,994
下岡多美枝	○	0
前重 昌敬	○	116,835
石飛 慶久	—	—
児玉 史則	—	—
大下 正幸	○	26,584
水戸 眞悟	—	—
先川 和幸	○	92,580
熊高 昌三	○	172,470
宍戸 邦夫	—	—
秋田 雅朝	○	92,524
塚本 近	—	—
金行 哲昭	○	64,090
青原 敏治	○	117,337
藤井 昌之	○	86,154
合 計	12人	1,029,564

※山本議員は4ヵ月分交付

【改選後】

平成28年12月～平成29年3月までの4ヵ月分

項 目		金額(円)
収入(交付金)		1,320,000
支 出	研修費	517,530
	広報費	67,230
	資料購入費	190,254
	資料作成費	0
	その他	0
	合計	775,014
残余额(返還額)		544,986

氏 名	申 請	支出額(円)
新田 和明	—	—
芦田 宏治	○	115,383
玉重 輝吉	—	—
玉井 直子	○	13,154
山根 温子	○	120,000
前重 昌敬	○	109,348
石飛 慶久	—	—
児玉 史則	—	—
大下 正幸	○	13,292
山本 優	○	0
熊高 昌三	○	61,003
宍戸 邦夫	—	—
秋田 雅朝	○	108,610
塚本 近	—	—
金行 哲昭	○	100,440
青原 敏治	○	13,784
水戸 眞悟	—	—
先川 和幸	○	120,000
合 計	11人	775,014

※[市ホームページ](#) → [安芸高田市議会](#) のページへも掲載をしています。

中国市議会議長会 議員表彰

副議長 3年：青原 敏治

議員 24年：金行 哲昭

議員 8年：先川 和幸

水戸 眞悟

大下 正幸

児玉 史則

石飛 慶久

前重 昌敬

議会のうごき

議会のうごき 4月～6月の議会の主な活動状況

4月

- 15日 地域懇談会<美土里>
(文教厚生常任委員会)
- 16日 地域懇談会<高宮>
(文教厚生常任委員会)
- 18日 議会広報特別委員会
地域懇談会<吉田>
(総務企画常任委員会)
- 19日 地域懇談会<八千代>
(総務企画常任委員会)
- 20日 議会運営委員会
全員協議会
議会改革特別委員会
地域懇談会<甲田>
(産業建設常任委員会)
- 27日 第1回臨時会
地域懇談会<向原>
(産業建設常任委員会)
- 28日 議会広報特別委員会

5月

- 9日 議会運営委員会
議会改革特別委員会
- 17日 地域懇談会<吉田>
(産業建設常任委員会)
- 22日 全員協議会
道の駅整備調査特別委員会
- 23日 総務企画常任委員会
- 25日 産業建設常任委員会
- 26日 文教厚生常任委員会
地域懇談会<八千代>
(産業建設常任委員会)
- 28日 地域懇談会<向原>
(文教厚生常任委員会)
- 30日 議会改革特別委員会
地域懇談会<美土里>
(総務企画常任委員会)
地域懇談会<甲田>
(文教厚生常任委員会)
- 31日 地域懇談会<高宮>
(総務企画常任委員会)

6月

- 2日 議会運営委員会
- 5日 道の駅整備調査特別委員会
- 9日 第2回定例会(開会)
議会広報特別委員会
- 13日 予算決算常任委員会
- 14日 本会議 (一般質問)
- 15日 本会議 (一般質問)
議会改革特別委員会
- 20日 全員協議会
議会運営委員会
- 21日 総務企画常任委員会
- 22日 文教厚生常任委員会
- 23日 産業建設常任委員会
議会運営委員会
- 27日 第2回定例会(最終日)
- 28日 議会広報特別委員会
高校生との意見交換会
(向原高校)

■29年第3回定例会は9月上旬から開会を予定しています。

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

地域のかがやき

吉田 児童たちも元気に参加!



一心祭り(7月15日)

八千代 親子仲良く和気あいあい!



刈田保育園運動会(6月3日)

美土里 地域をきれいに!
桑田地区



美土里小中合同クリーン大作戦(6月14日)

高宮 世界を夢みて・翔く!



「ル・メイダンスカンパニー 高宮支部」

甲田 まずは規律から!県小型ポンプ
操法競技大会優勝に向けてガンバロー!



消防団甲田方面隊選手

向原 きれいな絵が描けました



向原花しょうぶ祭(6月10・11日)

編集後記

今号より「市として地域が元気になる」表紙を掲載していくことになりました。

初回は12回目となる生徒議会に焦点を置き、生徒一人ひとりが真剣な眼差しで質問している状況を掲載しました。

「政治を身近なものとして捉えさせる。」「自分たちの生活環境に関心を持ち、明るく暮らしやすい地域づくりをすすめる安芸高田市民の一員としての素質を養う。」目的で実施されております。

私たち議員も常に初心を忘れず、21世紀を担う生徒・子どもたち、安芸高田市民皆様のため、しっかりと議会広報をこれからも届けてまいります。

(前重 昌敬)

〈発行責任者〉

議長 先川 和幸

〈議会広報特別委員会〉

委員長 山根 温子

副委員長 玉重 輝吉

委員 新田 和明

委員 芦田 宏治

委員 玉井 直子

委員 前重 昌敬